

人間科学研究科

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、人間科学研究科は、人間や社会の全体的把握を目指す、総合科学としての人間科学に、より高い学術的な水準と、深遠な社会的意義を付加するために、1978年に博士前期課程及び博士後期課程の大学院として発足しました。人間科学という学問に求められる社会からの要請は、近年ますます多岐にわたり高度になってきています。このような社会的要請に応えるため、下記のような基礎学力や研究力を有する者を求めています。

- 博士前期課程の一般入試では、各分野に必要な専門知識、英語能力、研究計画・実施能力を筆記試験と口述試験で選抜します。
- 博士前期課程の社会人特別入試では、各分野に必要な専門知識と研究計画・実施能力を筆記試験と口述試験で選抜します。
- 博士後期課程の一般入試では、各分野に必要な高度な専門知識、外国語能力、研究計画・実施能力を筆記試験と論文考査で選抜します。
- 博士後期課程の社会人特別入試では、高度な研究計画・実施能力を、研究計画書及び修士論文、研究論文に基づく論文考査で選抜します。

人間科学研究科では、学際性・実践性・国際性を柱とする教育プログラムを充実させてきました。

博士前期課程では、つねに異領域の学問分野にも関心を向ける好奇心旺盛な態度、内外を問わず多様な実践的なフィールドに積極的に参加する行動力、グローバルな諸課題に積極的に関与しようとする意欲、ならびに高度な語学力を備え、世界に向けて発信できる能力を身につけたいと希求する学生を強く求めています。

博士後期課程では、博士前期課程からの進学者を対象とするだけでなく、人文科学・社会科学そして自然科学の多様な学問を探求する素地を持つ学生を積極的に受け入れます。同時に、高度な語学力、異領域へ強い関心や多彩な職業経験を有した者など、問題意識を明確に持った学生の入学によって、人間科学の幅の広がりや深化を希求しています。